



2020年11月30日

---

# 住友化学 IR Day

---



# 本日のアジェンダ

---



**経営戦略**



**石油化学部門**



**エネルギー・機能材料部門**



**情報電子化学部門**



**健康・農業関連事業部門**



**医薬品部門**



# 経営戦略

代表取締役社長 社長執行役員

**岩田 圭一**

# I

## 経営戦略

1

業績動向

05

2

中期経営計画の進捗

09

3

サステナビリティへの取り組み

23



# I

## 経営戦略

1

業績動向

05

2

中期経営計画の進捗

09

3

サステナビリティへの取り組み

23

## 2020年度 年間業績予想 vs 前年度実績

(単位：億円)

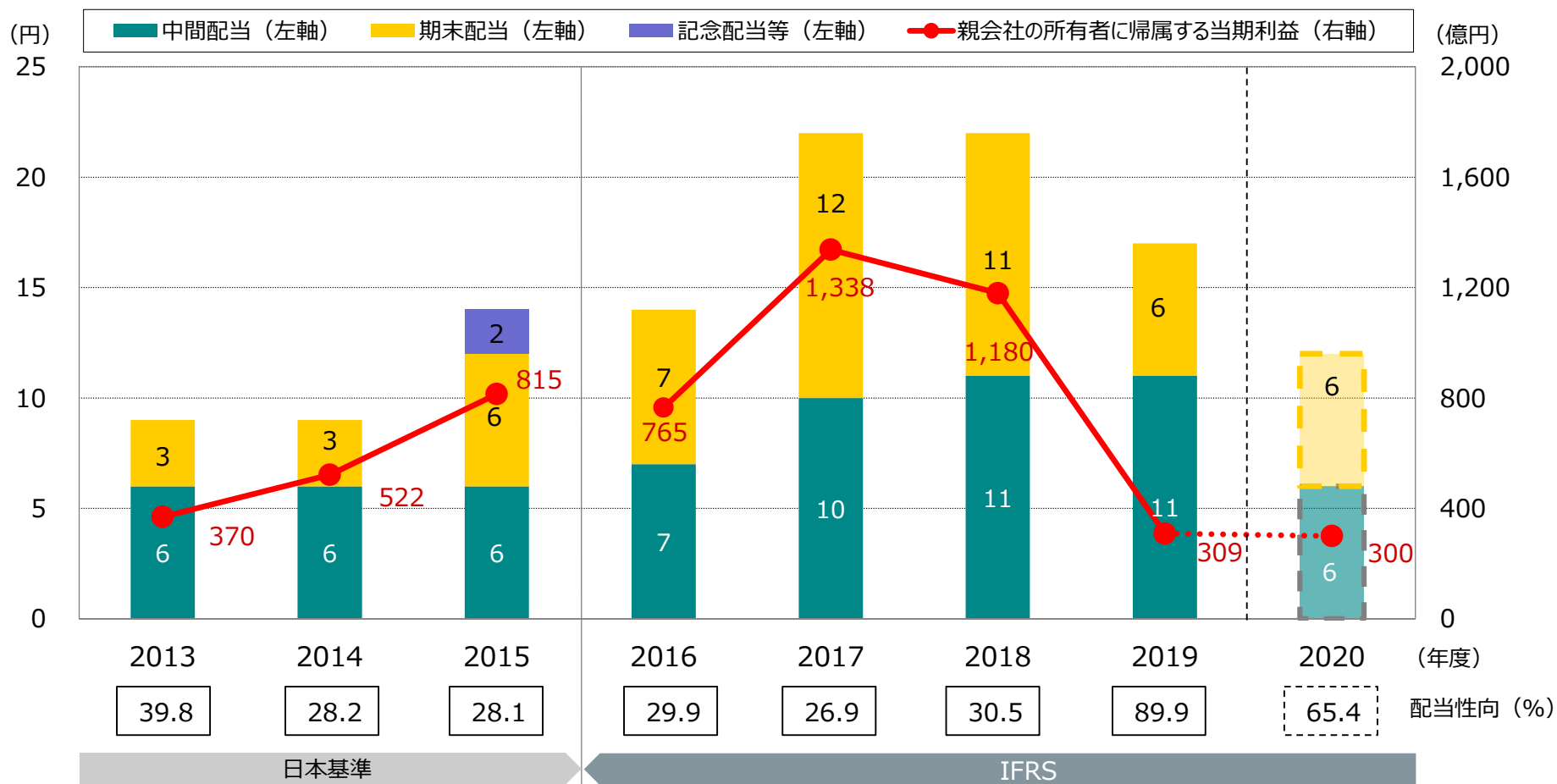
	2020年度 予想	2019年度 実績	差異
売上収益	22,150	22,258	-108
コア営業利益	1,000	1,327	-327
非経常項目	50	49	1
営業利益(IFRS)	1,050	1,375	-325
金融損益・税金・ 非支配持分損益	-750	-1,066	+316
親会社の所有者に 帰属する当期利益	300	309	-9

ナフサ価格	¥28,900/kl	¥42,900/kl
為替レート	¥107.47/\$	¥108.70/\$

(単位：億円)

	2020年度 予想	2019年度 実績	差異	差異要因
石油化学	-330	145	-475	石化市況下落、PRC定修、コロナ影響出荷減少
エネルギー・機能材料	180	203	-23	コロナ影響出荷減少
情報電子化学	360	251	109	半導体材料出荷増加
健康・農業関連事業	310	21	289	メチオニン市況上昇・農薬出荷増加
医薬品	510	753	-243	ロイバント提携による先行費用増加
その他	-30	-46	16	
<b>合計</b>	<b>1,000</b>	<b>1,327</b>	<b>-327</b>	

2020年度配当につきましては、一株当たり年間12円を予定しております。





# I

## 経営戦略

1

業績動向

05

2

中期経営計画の進捗

09

3

サステナビリティへの取り組み

23

## 2020年度に重点的に取り組む事項

- **大型M&Aの統合プロセス（PMI）の  
確実な実施**
- **事業ポートフォリオ高度化への注力**

## 近年実施した大型M&Aの Post-Merger Integrationに注力

### ロイバント社との戦略的提携

取得したパイプラインは  
順調に開発進捗  
(本年度以降上市予定)

既存の北米機能（サノビオン社）  
を活用した販売体制の構築

### 南米農薬事業買収

コロナ禍でもバーチャル会議での  
コミュニケーションを進め、  
システム統合を早期完了する等、  
統合プロセスは順調に進捗

## 石油化学部門

- ライセンス・触媒事業の強化
- 樹脂の高付加価値化

- 環境負荷低減に資する事業・技術開発

## エネルギー・機能材料部門

- アルミナ・レゾルシン等の安定収益基盤の維持・強化

- 5G・CASEを機会に、スーパーエンプラ・電池部材の事業拡大に注力

## 情報電子化学部門

- ディスプレイ／半導体領域の要素技術進化・融合による事業ポートフォリオ高度化

- LCD市場の変化に対応した最適化推進による一定利益水準の確保



## 健康・農業関連事業部門

- 南米・インドを中心としたグローバル展開
- B2020、A2020など農薬パイプラインの確実な上市

- バイオラショナル事業強化へ体制整備

- 販売：北米・欧州等で専門販売組織を新設・増員
- 開発：健康・農業関連事業研究所にバイオラショナルチーム新設

## 医薬品部門

- ポスト・ラツータを担うブロックバスター候補剤の開発推進

レルゴリクス（前立腺がん）  
→本年12月米国承認予定

ビベグロン（過活動膀胱）  
→本年12月米国承認予定

- ユーロバント社 完全子会社化

- DrugOmeなどデジタル革新を加速する基盤技術のグループ内横展開

## Good News

ラービグ完工保証解除

医薬品パイプラインの順調な進捗

南米農薬事業PMI 円滑に進行中



# I-2 中期経営計画の取り組み

中期経営計画  
基本方針

**次世代事業の創出加速**および  
**デジタル革新による生産性の向上**には、引き続き注力

1 次世代事業の  
創出加速

2 デジタル革新による  
生産性の向上

3 事業ポートフォリオの  
高度化

*Change &  
Innovation 3.0*  
*For a  
Sustainable  
Future*

4 強靱な財務体質の  
実現

5 持続的成長を支える  
人材の確保と育成・活用

6 コンプライアンスの徹底と  
安全・安定操業の継続

# I-2 次世代事業の創出加速

## 中期経営計画における重点4分野



ヘルスケア



食糧



環境負荷低減



ICT



イノベーションエコシステム

# I-2 次世代事業の創出加速

コーポレート研究 × 事業部門研究

各分野の柱となる  
テーマの開発を推進

## 各分野での主な進捗

### ヘルスケア

#### 再生細胞CDMO

大日本住友製薬とのJV設立

### 食糧

#### バイオリショナル資材

米国VBCにシンバイオハブを設置

### 環境負荷低減

#### 固体型電池

京大との産学共同研究講座

#### ケミカルリサイクル

3案件すべて2020年代中に事業化目指す

### ICT

#### イメージセンサー用材料

CMOS Image Sensor 向け新材料開発

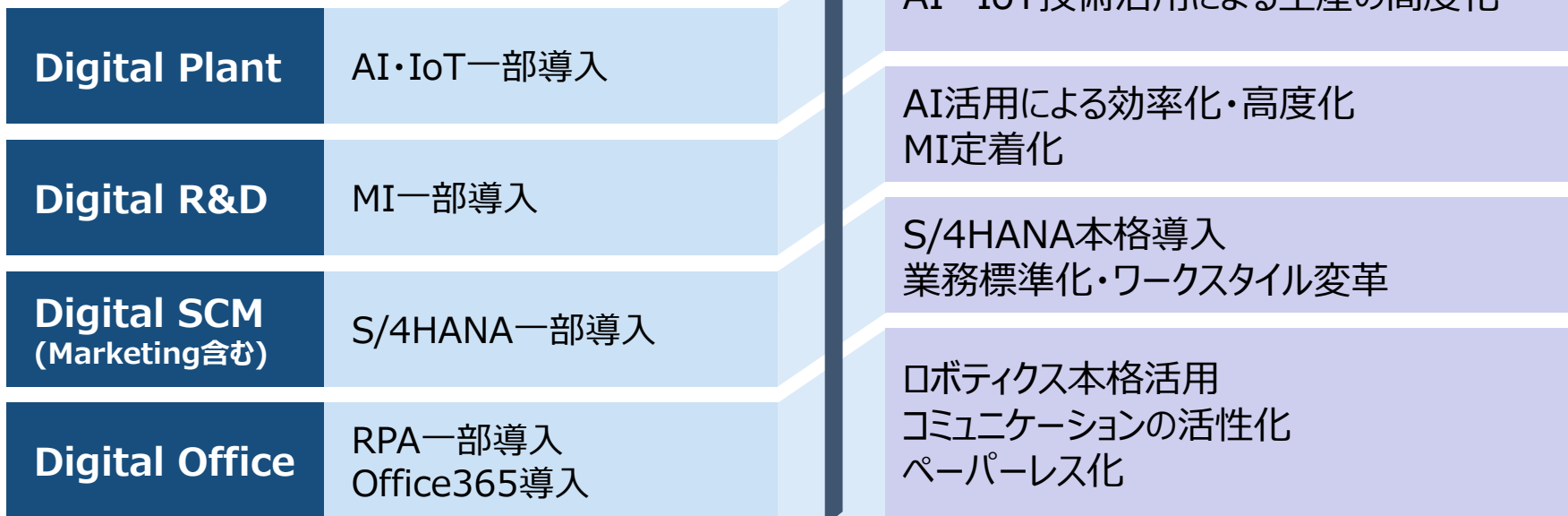
# I-2 デジタル革新による生産性の向上：DX戦略1.0

## プラント・R&D・サプライチェーン・オフィスにおける 飛躍的な効率化と質の向上

### DX戦略1.0

### 現中期経営計画での取り組み

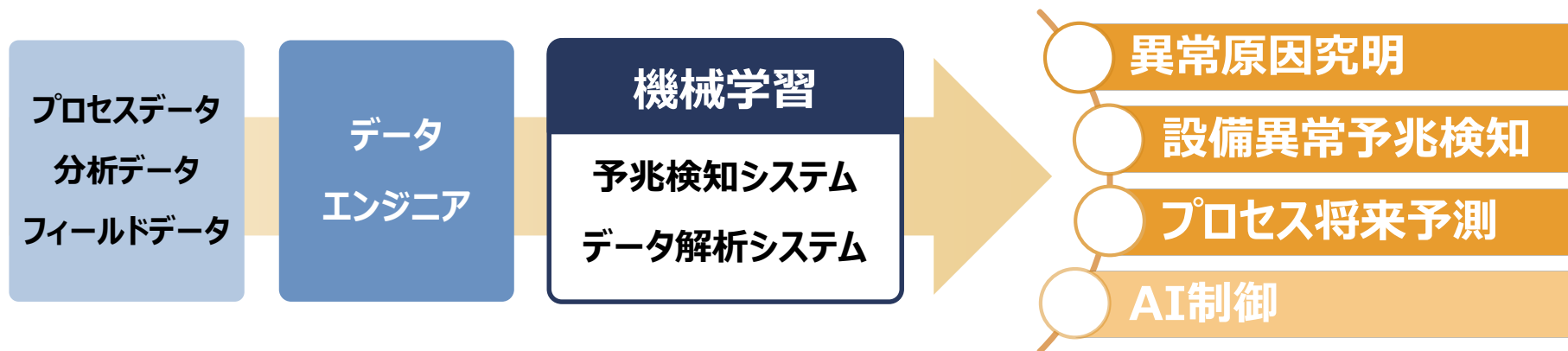
前中期経営計画までの  
取り組み



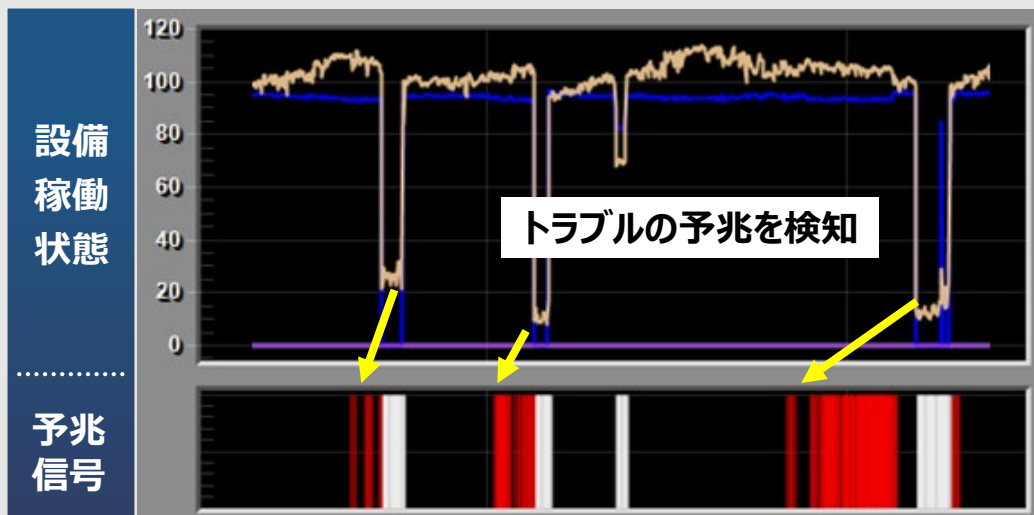


# I-2 デジタル革新による生産性の向上 : DX戦略1.0 事例

## 工場データの高度活用により生産性の高いプラント運営を実現



### 設備異常予兆検知システム事例



機械学習を用いて、  
設備異常の予兆を検知、  
アラート発信

現在 **4**工場 **8** プラントで活用中  
**順次全工場へ展開**

# I-2 デジタル革新による生産性の向上：当社のDX戦略マイルストーン

コーポレート  
主導

## DX戦略1.0

### デジタル4領域の 生産性向上

プロセス効率化による余力創出・  
オペレーションコスト削減

機能・業務の高度化/効率化、  
ベストプラクティスの横展開

持続的な  
取り組みとして  
定着化

## DX戦略3.0

### 新たなビジネスモデルの実現

コア技術/サービス/データを活かした  
新規ビジネスモデル創出

DX先進企業としての企業価値向上

事業部門  
主導

## DX戦略2.0

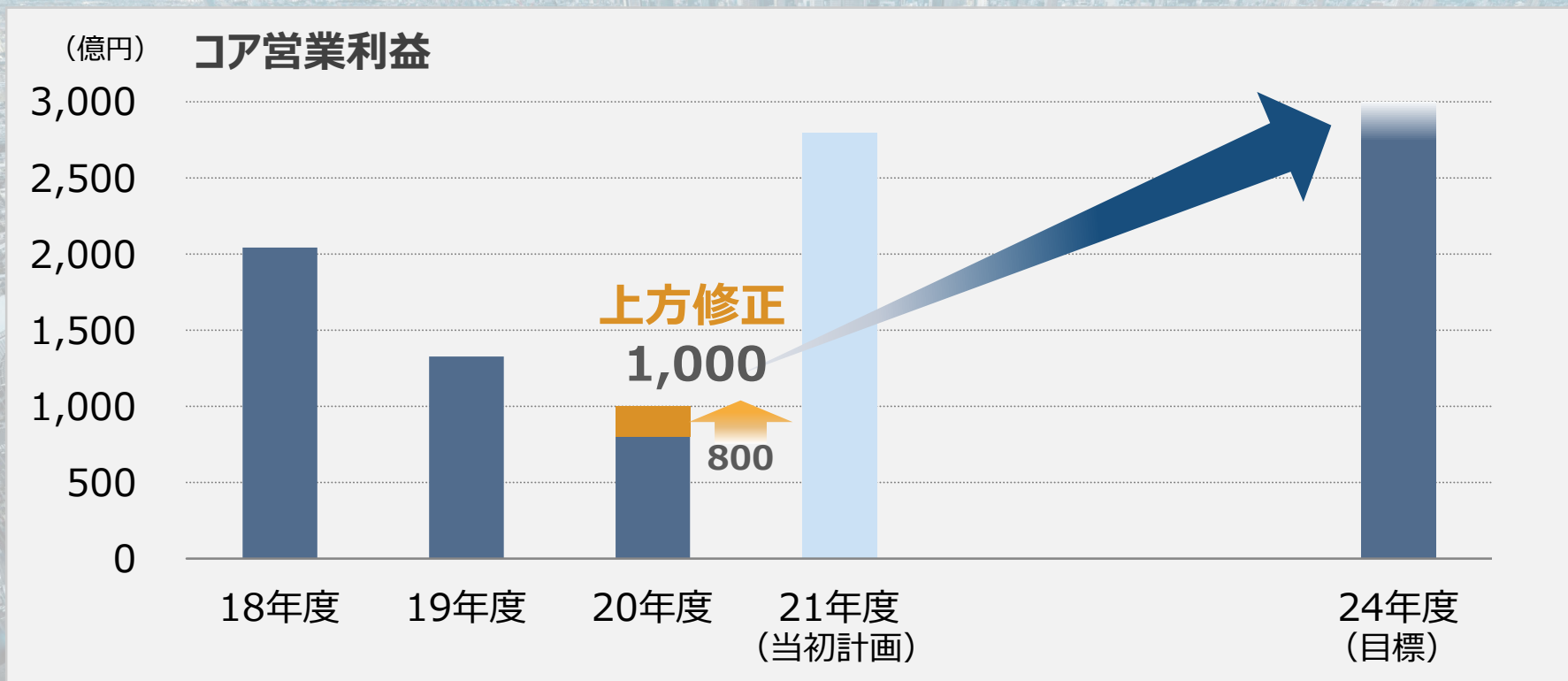
### 既存事業の競争力確保

顧客接点強化・顧客満足度向上による  
付加価値創出、シェア/売上拡大

機能を跨ぐサプライチェーン全体の  
最適化



PRC安定稼働、医農薬の新薬の拡販等により、  
次期中期での大幅な業績改善を目指す。

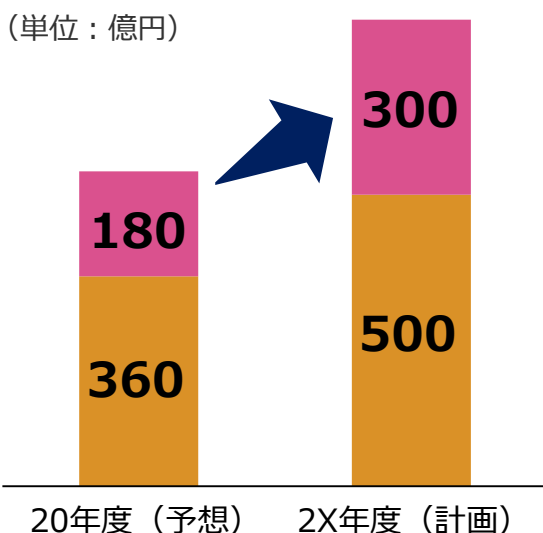


## 事業部門別の業績改善見通し（コア営業利益）

- 5G、モビリティ等、成長分野への経営資源の積極投入
- 次世代ディスプレイ等、高付加価値品、新製品の拡充

- エネルギー・機能材部門
- 情報電子化学部門

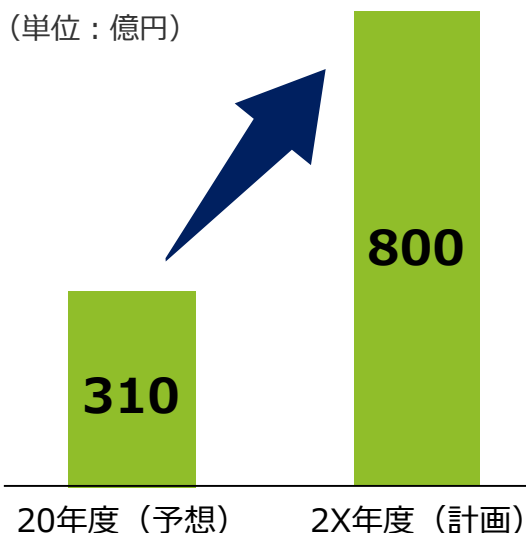
(単位：億円)



- B2020/A2020剤の上市
- バイオリショナル製品拡大
- 南米・インドビジネスの伸長

- 健康・農業関連事業部門

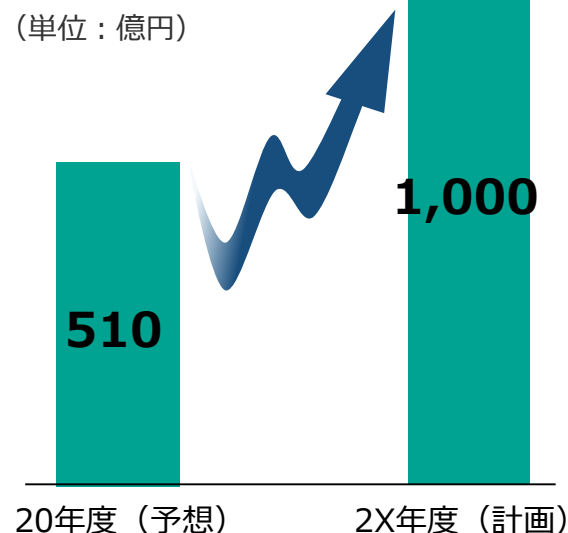
(単位：億円)



- ロイバント関連製品およびオンコロジー製品の販売増加

- 医薬品部門

(単位：億円)



# I

## 経営戦略

1

業績動向

05

2

中期経営計画の進捗

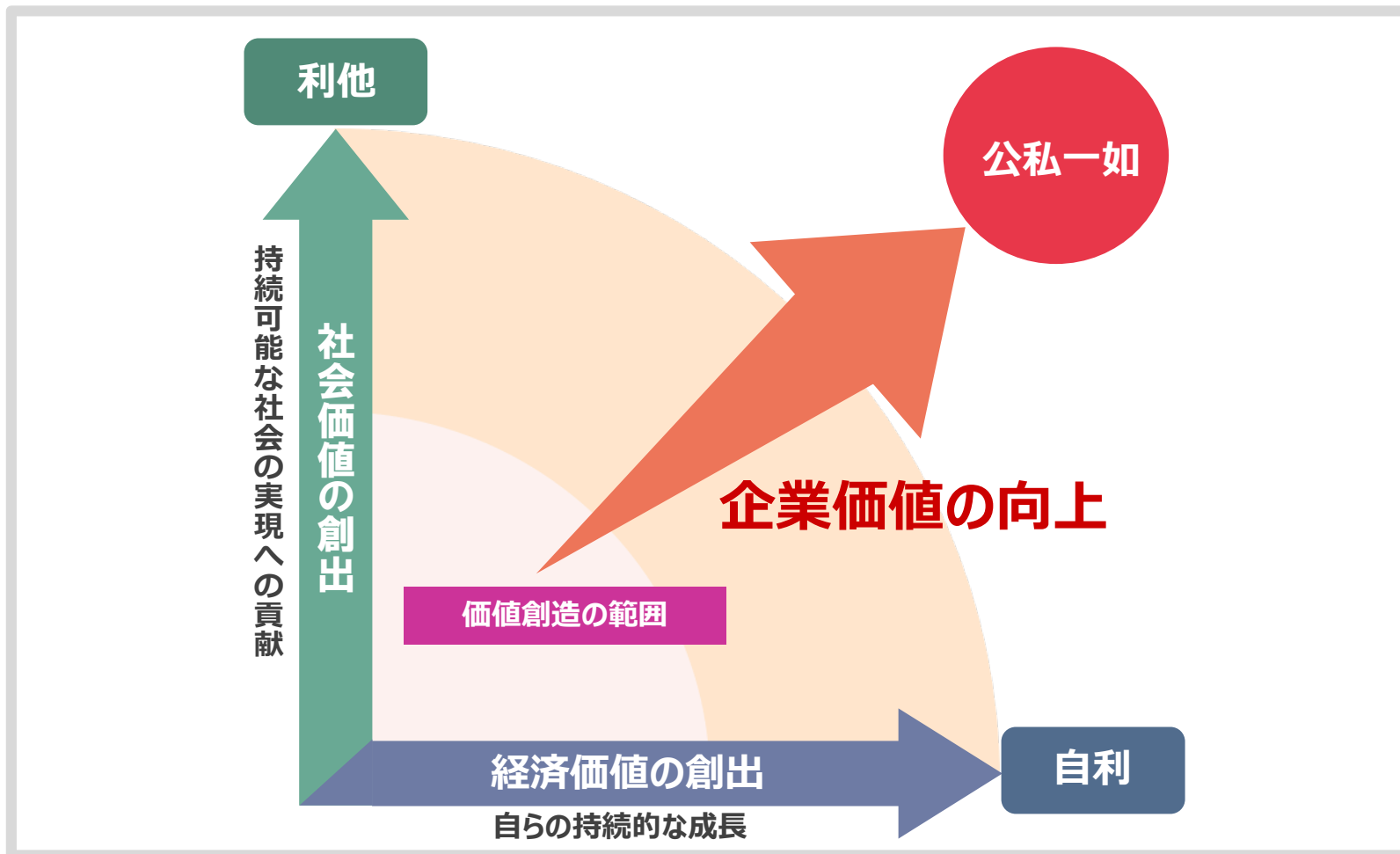
09

3

サステナビリティへの取り組み

23

# I-3 サステナビリティへの取り組み：当社の目指す姿



目指す姿

経済価値・社会価値を一体的に創出し、  
住友化学グループの持続的な成長とサステナブルな社会を実現

# I-3 サステナビリティへの取り組み：事業を通じた貢献

## 当社グループの事業を通じた貢献（機会の獲得）

### 環境負荷低減

- 炭素循環
- ケミカルリサイクル
- 省エネ
- ...

### 食糧

- 化学農薬
- バイオリショナル
- メチオニン
- ...

### ヘルスケア

- ベクターコントロールを通じた感染症対策
- 感染症治療薬の開発
- 再生・細胞医薬品
- ...

### ICT

- 超スマート社会、スマートモビリティへの対応
- ...



## Sumika Sustainable Solutions (SSS) 認定製品の普及

SSS認定製品の開発・普及を促進することで、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供

### KPI

**SSS**売上収益目標  
(2021年度)

**5,600**億円  
(2019年度：4,798億円)

### 社会への貢献例

**SSS**認定製品による  
GHG排出削減への貢献

**6,200**万t

**自社の製品により持続可能な社会の構築に貢献**

# I-3 ステークホルダーの皆様との夢の共有

住友化学は「経済価値」「社会価値」を一体的に創出

環境負荷  
低減

食糧

ヘルスケア

ICT

**事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献**

-ステークホルダーの皆様とこの夢を共有-



### 注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与えうる重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。